

2024
新春号

発行日
令和6年1月1日
第58号

市町村紹介コーナー
魚沼市「中越エリア」

新潟県 建設技術 センターだより

Niigata Construction Technology Center

- 特集 02 市町村紹介コーナー 魚沼市
- 04 発注者支援事業紹介 05 JNLAについて
- センターINDEX
- 06 令和5年度研究助成事業活動のご紹介 ものづくり体験学習教室
- 07 雪のことば・雪のころ
- 08 編集後記 新潟の地酒巡り 玉川酒造 人の心を豊かにする酒造り



二度目の桜を楽しみませんか

福山峠の雪上桜

雪解けを迎える春、雪上に桜が咲く「雪上桜」。
ソメイヨシノやオオヤマザクラなど約100本の桜が咲き、
その景色は雪国「魚沼」ならではの絶景です。
開花時期が全国各地より一足遅いため、毎年すでに桜を楽しんだ方々が、
二度目の桜を見ようと訪れています。

月岡公園

魚沼の山々と町並みを眺められる高台に位置するこの公園は、遊具やトレッキングコースがあり、幅広い世代から親しまれています。また、花ひろばでは夏と秋の2回ユリが咲き、夏にはユリまつりが開催され、散歩や撮影を目的に大勢の人が訪れる人気スポットとなっています。



魚沼市

Uonuma

魚沼市のプロフィール

面積／946.76km²

人口／33,438人(令和5年3月31日現在)

世帯数／13,117世帯(同上)

<https://www.city.uonuma.lg.jp/>

魚沼の木「コブシ」、魚沼の花「カタクリ」、
魚沼の鳥「ウグイス」、魚沼の魚「アユ」

中越地方南東部、周囲を山々に囲まれた魚沼盆地に位置する魚沼市。中央部にはアユをはじめとする数多くの魚が生息する清流魚野川が流れ、流域には魚沼産コシヒカリを生み出す水田地帯が広がっています。また、四季の移ろいがはっきりしているため、様々な自然の美しい景色で訪れた人々を魅了しています。



ユリ

全国有数の産地を誇っている魚沼。約150もの多種多様な品種があるだけでなく、その一つ一つが高品質なユリは生産者のたゆまない努力と研究により進化し続けています。



トピックス

◆市制施行20周年を迎えます◆

魚沼市は2024年11月1日に市制施行20周年を迎えます。あと1年に迫った2023年にはカウントダウンボードが設置され、記念すべきその日に向けて小出インターチェンジから魚沼インターチェンジへの名称変更をはじめとする様々な記念事業を準備しています。



特産品

◆魚沼市産コシヒカリ◆

魚沼といえばコシヒカリ。雪国ならではの気候と豊かな自然環境で育ったコシヒカリは格別です。



春夏秋冬のみどころ

◆春／芝桜◆



根小屋花と緑と雪の里では、例年5月上旬～中旬に芝桜が見ごろを迎えます。約1ヘクタールの敷地に20万株もの芝桜が植えられ、多い年には3万人以上の方が訪れます。

◆夏／万年雪◆



中荒沢の万年雪は猛暑の続く夏に訪れたい避暑地。登山口から30分程度で行けるため夏休みのプチ冒険にピッタリです。

◆秋／枝折峠の滝雲◆



「一生に一度は見たい絶景」といわれる枝折峠の滝雲。大自然の神秘ともいえる現象は、秋に見られる確率が高まり、早朝にも関わらず、大勢の観光客がこの絶景を求めて足を運んでいます。

◆冬／結の灯り 「魚沼雪洞まつり」◆



毎年1月下旬～3月中旬まで開催される雪と灯りを楽しむイベント。期間中は市内各地で様々な催しが開催され、雪灯籠の優しい灯りに心が温まります。

魚沼三大奇祭



◆しねり弁天たき地蔵まつり◆

「しねり弁天」と声をかけて男性は女性の腕をつねり(しねり)、女性は「たき地蔵」と声をかけて男性の肩をたたき天下の奇祭。年に一度無礼講が許される祭りで、無病息災・子孫繁栄のご利益があるといわれています。



◆雪中花水祝◆

極寒の中、前年に結婚した新婦に元旦に汲んだ若水を浴びせかけるといふ荒々しい冬の奇祭で、毎年2月11日に開催されます。子宝・子どもの成長・夫婦和合の願いを込めて行われています。



◆百八灯◆

暗闇の中、真っ白な雪山の尾根に並ぶ真っ赤な108の篝火はとても幻想的な雰囲気醸し出します。毎年3月の第一日曜日に、無病息災・五穀豊穡を祈願して行われる越後の奇祭です。



四日町地区雨水管渠布設第4次工事

工事概要

四日町・袖八川地区は、たびたび内水湛水による浸水被害が発生しており、これらの浸水被害を軽減する必要があります。内水対策のひとつとして雨水ポンプ場および連絡水路の建設が計画されました。この工事は自然排水・強制排水にポンプ場から既設吐き口の四日町排水樋管まで流下させるためのボックスカルバートを布設する管渠布設工事です。

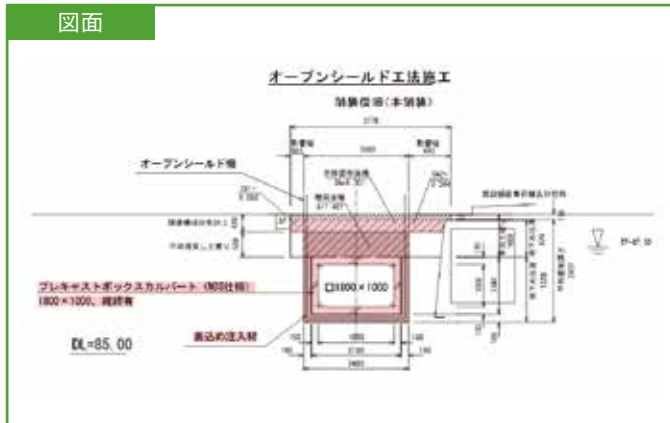
工事内容

- 工事名 / 令和4年度 3魚建第18号
四日町地区 雨水管渠布設 第4次工事
- 工期 / 令和4年7月～令和5年9月
- 発注者 / 新潟県 魚沼市役所 産業経済部 建設課
- 工事内容 / ボックスカルバート 1800×1000 L= 63.0m
特殊組立式箱型人孔 N=1箇所

位置図



図面



立会状況



立会状況



現場完了検査



管理技術者 から一言

現場技術員 阿部 史也

当該工事は、県道下にオープンシールド工法でボックスカルバートを布設する工事です。

現場は県道とJRが立体交差する箇所を含み、県道上にオープンシールド施設を設置するため、交通規制等の安全管理が重要課題となりました。特に現場代理人、交通誘導警備員、JR保安要員(工事管理者、誘導員、列車見張員)と多くの要員が安全管理に関わり、施工業者が打合せにより綿密に計画し、施工がなされているかを把握しました。安全管理を含め、工事の施工において、計画の重要性を改めて認識することができました。

今後も発注者支援業務を通じて地域の安全・安心と、地域社会の発展に貢献していきたいと思っております。

JNLAについて

JNLAとは、Japan National Laboratory Accreditation systemの略称であり、産業標準化法（JIS法）に基づく試験事業者登録制度のことです。登録された試験所は、その証（あかし）としてJNLA標章（JNLAロゴマーク）を付けて試験結果報告書を発行することができます。登録には、国際標準化機構及び国際電気標準会議が定めた試験所に関する基準（ISO/IEC 17025）の要求事項に適合しているかどうか独立行政法人製品評価技術基盤機構認定センター（IAJapan）の審査を受け適合と認定されなければなりません。

当試験所は、新潟本所が平成19年3月14日付け、長岡支所が令和4年12月14日付けで独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）より産業標準化法第57条1項の規定に基づき登録試験業者としてJNLA登録されました。



JNLAは、産業標準化法に基づく試験事業者登録制度の標章で当法人試験部は、土木・建築分野の登録試験事業者です。
(070242JPは新潟本所、220427JPは長岡支所の登録番号です。)

以下の登録試験項目は、ご指定いただければ

JNLA標章（JNLAロゴマーク）を付けて発行することができます。

- ・JIS A 1106 コンクリートの曲げ強度試験方法 ただし、供試体の作製を除く（長岡支所）
- ・JIS A 1108 コンクリートの圧縮強度試験方法 ただし、供試体の作製および附属書Aを除く（長岡支所）
- ・JIS A 1102 骨材のふるい分け試験方法（新潟本所）
- ・JIS A 1121 ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験方法（新潟本所）
- ・JIS A 1145 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法（化学法）ただし、8.3はb)に限る。（新潟本所）



骨材のアルカリシリカ反応性試験（新潟本所）



コンクリート試験（長岡支所）

令和5年度 研究助成事業 活動のご紹介

南魚沼環境・野外教育研究会

「学びの里山」整備が順調に進んでいます

環境・野外教育の体験学習の場「学びの里山」整備を進めています。外周道路、小径、木橋、広場などの建設、看板類の設置の他、「山田」の復元、カヌーやボート桟橋も整いました。また、小中学生を対象に、四季の特色を生かしたデイキャンプ「里山塾」も好評でした。11月中旬には、「学びの里山」プレオープンイベントも開催しました。整備はまだまだ続きます。



早春の「里山塾」スノーシューやかんじきを履いて「凍みわたり」



夏の「里山塾」カヌー体験



「田んぼビオトープ」での観察風景 2023/11/12

ものづくり体験学習教室を行いました。

新潟県建設技術センターでは公益活動の一環として「ものづくり体験学習教室」を行っています。

この取り組みでは、子ども達にものをつくる楽しさや、ものが完成したときの喜びや達成感を味わってもらおうと共に、土木について関心や興味を持ってもらうため以下の3つの観点による普及教育活動を行っています。

場所 村上市立小川小学校 対象 4年生19名

開催内容

- ①クイズでわかる! コンクリートのふしぎ!
- ②ペーパーウエイトをつくってみよう!



- ③コンクリートでつくったアーチ橋を渡ってみよう!
- ④コンクリートの水に関する珍しい特徴とは?(実験)

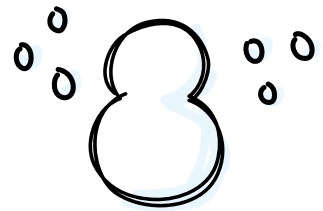


コンクリートへの理解と関心

理化学分野への興味

将来の技術者への進路

雪のことは・雪のこころ



「雪国人間力」について考えてみませんか

国立研究開発法人防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター 上石 勲

2023年秋号でも紹介しましたが、最近の集中的な豪雪による大規模交通遮断の多くの検証会議に委員や座長として参加させていただいています。これらの会議での議論を私なりに俯瞰的に解釈し、その解決には次の7つの課題解決メニューが必要ではないかと提案しました。

この課題解決は2次元的に表現すると、「技術」と「制度設計」に整理することができるものと捉えています(図左)。

- ①新技術を用いた降雪・積雪状況の面的な把握
- ②降雪予測の高精度化
- ③出控えや除雪体制強化の基準となる「災害級の大雪」や「異常降雪」の基準値・閾値の設定
- ④住民・道路利用者への情報提供
- ⑤雪の情報、データの蓄積と活用
- ⑥技術やノウハウの伝承
- ⑦雪のBCP

しかし、7つの課題を有機的に結び付けるには、技術と制度設計の2軸では足りない、他の軸が存在する、これが、「雪国人間力」ではないかと考えました(図右)。

この「雪国人間力」とは、「文化・風土、歴史伝統、災害経験・伝承、こころ、ことば、教育」など、多様なものが考えられます。

「雪国人間力」。雪国で持っているのが当たり前の譲り合い、相手を思いやるこころは、どこから来ているのでしょうか。雪国の人間は毎年、毎日のように雪のダメージを受けます。このダメージを真正面からいつも受けて対処するのは大変なので、程よく、しなやかにかわすことが求められます。たとえば、雪の道を歩く時には、雪を踏み固めたり、除けたり、雪を踏み固めた道を小さい子やお年寄りが通ることを待ったり、スタックしている車を皆で当たり前のように押し下ろす人間力を持つこと。雪国の人はその人間力を自然体で体現できています。

「雪国人間力」は「雪国」に住んで、「雪に痛めつけられたり」「痛めつけられそう」になったら、身に着けることができるものだと思います。これが足りないと思えば雪国では生きていけないからです。

本連載の「雪のことは・雪のこころ」も「雪国人間力」を養う一助となればと思います。

この雪の季節に「雪国人間力」について考えてみませんか。

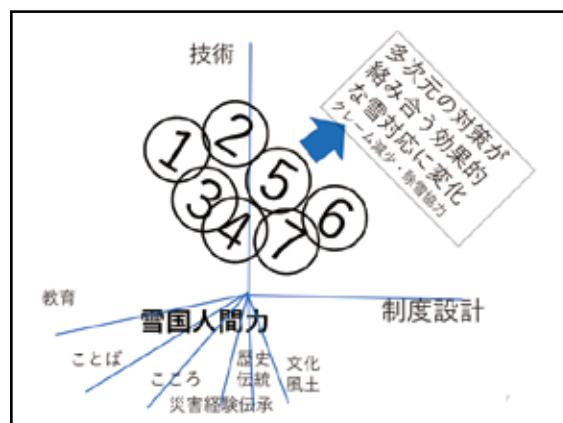
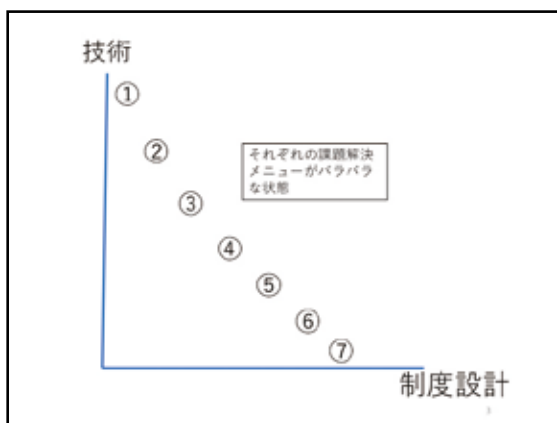


図 冬期道路交通課題解決メニュー 2次元と多次元(雪国人間力を追加)

特集

vol.28

新潟の地酒巡り

全国的にも評価が高い新潟の清酒。
そのおいしさの秘密を紹介します。

魚沼市の酒蔵

玉川酒造

魚沼市で酒を醸して350年

玉川酒造は1673年の創業から350周年を迎えました。酒蔵の所在する魚沼市(旧守門村)は全国随一の豪雪地とされ、積雪は4メートルを超える年もあります。その降り積もった雪が解け、山々に染み込み自然に濾過された水(伏流水)を使用して酒を仕込んでいます。

水質は超軟水に分類され、玉川酒造製品のやわらかい飲み口の礎となっています。



代表取締役
風間 勇人



1.【雪中貯蔵大吟醸原酒 越後ゆきくら】《令和5年秋 関東信越国税局酒類鑑評会 吟醸酒の部 最優秀賞受賞酒(首席第一位)》玉川酒造蔵人の全ての技術と情熱を注ぎ込んだ珠玉の傑作です。全量魚沼市産山田錦を使用しています(精米歩合35%)。2.【吟醸 十九代玉風味】《全国燗酒コンテスト2023 プレミアム燗酒部門 最高金賞受賞酒》魚沼市で350年伝わる玉川酒造の代表銘柄です。味わいに旨味とふくらみがありつつも辛口でキレの良いお酒です。3.【純米吟醸 イットキー】《ワイングラスでおいしい日本酒アワード2017 メイン部門 最高金賞受賞酒》日本酒の新しい扉を開くカギをイメージした革新のお酒。今までの日本酒にはなかった甘味と酸味が爽やかな味わいを実現しています。4.【越後武士46度】日本酒と同様の原料と製造方法で醸した46度の超高アルコール酒。日本酒度は+66。寡黙で武骨な不言実行の越後武士を表現したキレ味鋭いお酒です。



玉川酒造株式会社

〒946-0216

新潟県魚沼市須原1643

TEL.025-797-2017

FAX.025-797-2346

<http://www.yukikura.com/>

編集後記

明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

この新春号では魚沼市様からのご寄稿や玉川酒造(株)様からの新潟の地酒巡りなどをご紹介させて頂きました。ご協力くださいました皆様に感謝申し上げます。

令和6年がスタートいたしました。今年も「信用・信頼」をモットーに新潟県の地域づくりに寄与できるよう誠心誠意取り組んでまいりますので、皆様からの温かいご支援、ご指導をお願いいたします。

編集委員 技術部 原 太起



人の心を豊かにする酒造り

玉川酒造では「伝統のお酒」と「革新のお酒」の2種類に分けて商品を製造しています。

まずは「伝統のお酒」ですが、350年という長きにわたり酒蔵が続けてこられたのは地元魚沼市の方々を中心としたご愛飲家の皆様の支えの他なりません。古くから愛して頂いている伝統の味わいを守り続けること。それが当蔵の一つの使命と考えています。

そしてもうひとつの「革新のお酒」。お酒は誰にでも製造をすることができるものではないので、新しい味わいのお酒を造ることも酒蔵の使命と考えています。「革新のお酒」がお客様に受け入れられて定着したとき、それは次の世代の「伝統のお酒」に変わるのではないのでしょうか。

性質の違う2種類のお酒ですが、どちらのお酒にも「人の心を豊かにする酒造り」という想いが一致しています。米や野菜や肉は人とは違う他の動物も食することができますが、お酒は人にしか味わうことができません。楽しい時や嬉しい時、あるいは悲しい時やつらい時。人の心に寄り添えるお酒、人生を豊かにするお酒を造りたいと考えています。

玉川酒造は敷地内に酒蔵見学越後ゆきくら館を運営しています。1月1日の休館日を除き、予約の必要もなく無料で酒蔵見学と試飲を楽しむことができます。当蔵でしか買えない限定酒の販売もありますし、お客様からの直接の声を頂くことが蔵人のお酒造りへの情熱にも変わるのでは是非お時間がございましたら遊びに来てください。

